

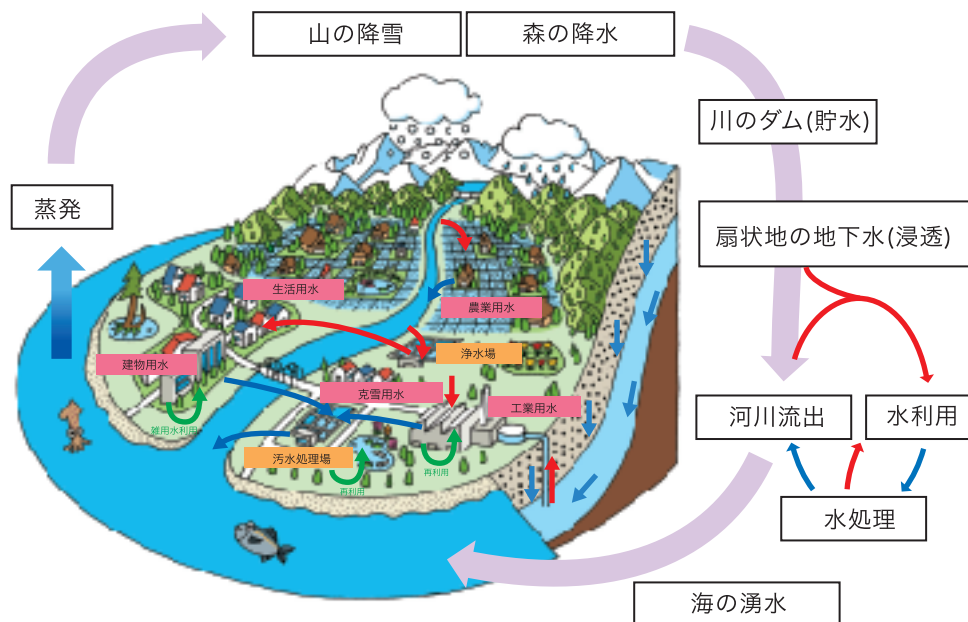
— 水の王国 とやま —

● 富山県の水循環 — 富山県は「天然の円形劇場」 —

富山県は、3,000m級の立山連峰をはじめとする山々に三方を囲まれ、世界的にも急流河川である黒部川や常願寺川などが扇状地を形成し、水深1,000mの富山湾に注ぐという独特な地形を有し、ほぼ独立した水循環系となっています。

先人たちは、水と闘い、治水にはげみ、今日の“水の王国とやま”を築きあげました。

このかけがえのない財産を未来へ守り育てていくために、富山県は「健全な水循環系の構築」におけるモデル県をめざしています。



● 山の降雪 — 富山県は日本一の降雨降雪地帯 —

標高3,000m級の立山連峰に積もった雪は、自然の大貯水池である“雪のダム”から、ゆっくり時間をかけて低水温の清冽な水(夏でも15°C前後)を豊富に供給します。

観測が行われている地点では日本でも類例のない積雪 立山(室堂)では9mもの積雪



(立山室堂 みくりが池)

